

トキとその他の鳥

佐渡島には **360** 種以上の鳥を見つけることができ、その中で最も有名なのがトキです。トキは、乱獲と餌の不足によって大正時代（**1912～1926**）には激減しました。トキは **1981** 年には最後の **5** 羽は全て、佐渡で飼育下にあり、野生絶滅となりました。トキを救うための繁殖過程が始まったものの難航し、佐渡で最初に繁殖されたトキが生まれたのは **1999** 年のことでした。佐渡で育てられた鳥たちは、**2008** 年に初めて原野へ放されました。今では島内に、**400** 羽以上のトキがのびのびと平和に暮らしています。トキの森公園や隣接する繁殖施設付近で、木々の間に休んでいたり、野原で採餌していたりする様子を見ることができます。

トキは、秋にピンク、冬の発情期に灰色、その他の時期には白、と季節によって変化する羽毛の色で見分けることができます。人に対して用心深い鳥で、野生で見つけた場合には車内から、もしくはかなり離れた距離からのみ眺めるようにすべきです。より近くから見たいなら、トキの森公園を訪れましょう。同園では、訪問客は観察窓から鳥たちを覗き見ることができます。トキを保護するために、環境に配慮した有機農業や農耕技術が実施されています。そして、彼らの自然の生息地に年間を通して餌が不足しないよう対策が取られています。

佐渡のその他の鳥の多くは渡り鳥で、特定の季節に垣間見ることしかできません。春は回遊が最も盛んになる季節で、移動する渡り鳥をひと目見ようと、島の北端に位置する二ツ亀と大野亀の崖周辺へ向けて野鳥観察者が集まります。鳥たちは、日本の本島である本州からアジア本土へ飛ぶ際、佐渡島へ休憩しに寄るのです。